

生産性向上支援訓練カリキュラム案

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社テクノ経営総合研究所

B. 組織マネジメント	リスクマネジメント	災害時のリスク管理と事業継続計画
-------------	-----------	------------------

コースのねらい	災害は突発的に発生するため、緊急時の対応力が求められるが、想定通りに発生するはずもなく緊急時の対応・判断は難しい状況がある。そうした状況が発生した際にも復旧の遅れや自社のサービスが供給できないことによる顧客離れを防ぎ、事業への被害を最小限に抑えるためのリスク管理と事業継続計画に関する知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 災害におけるリスクマネジメント	(1) まず事業継続計画(BCP)について知る【演習あり】 事業継続計画(BCP)の基本 (ディスカッション)現場で事業継続計画(BCP)について取り組むべき事 災害発生時の業務操業度合いとBCP 防災計画とBCPの似ている点、違う点 (ディスカッション)事業継続計画(BCP)の重要性と作成時の注意点について考える (2) 災害時のリスクを考える【演習あり】 過去の近隣地域の地震災害の記録と断層の位置 ハザードマップについて (ディスカッション)災害時リスクを洗い出す (3) 災害時のライフライントラブル 過去のライフライントラブルと復旧について (4) 感染症BCP対策 新型コロナの発症経過と重症化リスク因子 BCPと感染対策マニュアルとの違い 感染症対応のBCP作成ポイント 新型コロナウイルス感染者発生時の対応フローチャート(入所系)	3.5
	2 事業計画の策定	(1) 業務分析 緊急時でも継続すべき業務とその方法 業務分析 緊急時でも継続すべき業務とその方法 復旧に向けての拠点など 事業継続・復旧事例 参考 中小企業庁の支援対策 参考 BCP作成手順	1.5
	3 事業継続計画の周知と改善	(1) 従業員への周知と教育訓練 BCP訓練と防災・避難訓練 BCP訓練の目的 BCP訓練の種類、方法など BCP訓練の手順 (2) 机上訓練デモ【演習あり】 (ディスカッション+ワークショップ) 実際にシナリオをもとにして、机上訓練を行い、現場で持ち帰って再度現場従業員全員で机上訓練ができるようにする	1.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント

企業の事業継続に支障を発生させるような自然災害を含む災害発生頻度はこのところ大きく上昇しています。企業の事業環境を一気に押しつぶしてしまう火災、地震、津波、土砂崩れなどもあれば、徐々に事業継続に負の影響を与え続けるパンデミックやグローバル経済の変化などによる原材料不足、食糧不足など、様々な災害が考えられます。が、現代社会では、事業継続計画を事前策定し、何があっても残された資源で事業継続する事が求められるのも事実です。本研修では、じっくりと時間をかけて、これら計画の基本を身につけていただきます。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
・なし	・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・PC(持参) ・OS:Windows10／・アプリケーション:Microsoft Office365 PowerPoint
●使用するテキスト	●その他
・自作テキスト	・なし
利用事業主に用意を求める機器等	
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード	・なし